

2011年10月31日

報道関係各位

株式会社共立総合研究所

(照会先) 名古屋オフィス 主任研究員 河村 宏明

Tel:052-564-1520

進化する道の駅  
～ 岐阜県における道の駅経済効果 ～

大垣共立銀行グループのシンクタンク(株)共立総合研究所(大垣市郭町2-25 取締役社長 森 秀嗣)は、今般標記についての調査レポートをまとめましたのでご案内申し上げます。なお、調査レポートの全文は11月2日発刊予定の当研究所の機関誌「レポート Vol.143」に掲載しています。

資料配布:大垣市政経済記者クラブ、名古屋金融記者クラブ

# 要旨

1.2010年の岐阜県における道の駅の経済効果を試算した結果、直接効果(観光消費額)が約185億円、間接効果を含めた総合効果が約328億円(直接効果の1.77倍)となった。なお、2010年の岐阜県内観光消費額は約2,712億円であるので、道の駅はその約6.8%を占めることとなる。

2.2010年の岐阜県の観光客数は約51.9百万人、道の駅のそれは約10.4百万人と約20%を占めている。このシェアと観光消費額のシェアと比べると、道の駅効果の拡大余地はまだ大きいと言える。今後の道の駅には①充電スポット、②新エネ・省エネPR、③地域の核、④広域連携という4つの機能が求められよう。

3.8月25日現在、全国の道の駅は977箇所、そのうち岐阜県は53箇所を占め、北海道(113箇所)に次いで全国2位。岐阜県は「道の駅王国」と言える。

# 1.道の駅の経済効果①

前提条件

## ①ガソリン代

岐阜県「観光レクリエーション動態調査結果」の同行者人数別観光客数をベースに利用自動車台数を算出。そのうち1/3が県内でガソリン50L入れることとした。レギュラー70%、ハイオク30%とし、価格は石油情報センター発表の店頭価格の2010年平均を用いた。

## ②お土産代

1人当たり500円とし、お土産の種類は飲食料品70%、パルプ・紙・木製品10%、窯業・土石10%、繊維5%、その他5%とした。

## ③飲食代

1人当たり1,000円とし、観光客の15%が食事をする事とした。

## ④体験代

体験施設がある道の駅は13駅、それぞれ1日当たり10人利用することとし、利用料金は2,000円、営業日数は300日とした。

これらの前提条件を用い、2005年岐阜県産業連関表を利用して経済効果を算出した結果、**直接効果(観光消費額)が約185億円、間接効果を含めた総合効果が約328億円(直接効果の1.77倍)**となった。なお、2010年の岐阜県内観光消費額は約2,712億円であるので、**道の駅はその約6.8%**を占める。

# 1.道の駅経済効果－②

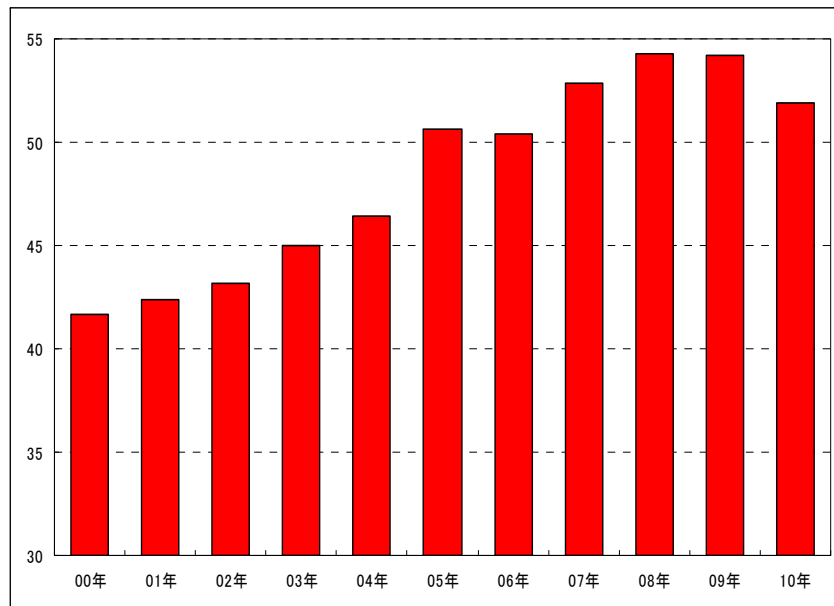
単位:百万円

産業別経済効果表		最終需要増加額	直接+間接1次効果	間接2次効果		経済波及効果
				消費効果	投資効果	
01	農 林 水 産 業	0.0	455.9	77.0	7.3	540.2
02	鉱 業	0.0	15.1	2.5	3.9	21.5
03	飲 食 料 品	2,388.2	2,568.4	163.2	0.3	2,732.0
04	織 維 製 品	149.6	171.0	11.0	2.0	184.1
05	パ ル プ ・ 紙 ・ 木 製 品	372.2	498.8	15.5	20.1	534.4
06	化 学 製 品	0.0	22.6	14.1	1.6	38.3
07	石 油 ・ 石 炭 製 品	0.0	8.6	6.8	0.9	16.4
08	窯 業 ・ 土 石 製 品	392.8	427.0	9.2	30.5	466.7
09	鉄 鋼	0.0	3.3	0.9	5.6	9.8
10	非 鉄 金 属	0.0	0.8	0.3	1.0	2.0
11	金 属 製 品	0.0	43.3	8.0	32.1	83.4
12	一 般 機 械	0.0	10.5	3.7	139.9	154.0
13	電 気 機 械	0.0	2.5	9.1	22.1	33.6
14	情 報 ・ 通 信 機 器	0.0	1.2	16.1	36.0	53.3
15	電 子 部 品	0.0	5.5	6.6	9.6	21.8
16	輸 送 機 械	0.0	11.5	32.5	39.1	83.1
17	精 密 機 械	0.0	4.2	5.2	7.2	16.7
18	その他の製造工業製品	193.7	304.2	32.6	16.8	353.7
19	建 設	0.0	125.2	65.4	827.0	1,017.6
20	電力・ガス・熱供給業	0.0	390.7	163.4	16.4	570.5
21	水道・廃棄物処理	0.0	116.8	77.6	5.9	200.3
22	商 業	13,185.3	13,702.9	1,016.1	250.0	14,969.0
23	金 融 ・ 保 険	0.0	892.2	530.1	48.2	1,470.5
24	不 動 産	0.0	366.7	1,541.7	13.1	1,921.5
25	運 輸	203.9	1,293.8	408.2	100.9	1,803.0
26	情 報 通 信	0.0	416.4	206.9	159.5	782.8
27	公 務	0.0	26.2	25.2	2.9	54.4
28	教 育 ・ 研 究	0.0	101.2	139.1	14.7	255.0
29	医療・保健・社会保障・介護	0.0	0.5	291.7	0.0	292.2
30	その他の公共サービス	0.0	22.9	108.6	2.1	133.6
31	対事業所サービス	0.0	891.8	274.7	136.1	1,302.7
32	対個人サービス	1,642.5	1,672.1	822.1	1.7	2,495.9
33	事務用品	0.0	76.3	12.8	3.0	92.1
34	分類不明	0.0	94.6	21.3	10.6	126.5
	合 計	18,528.1	24,745.0	6,119.3	1,968.1	32,832.3

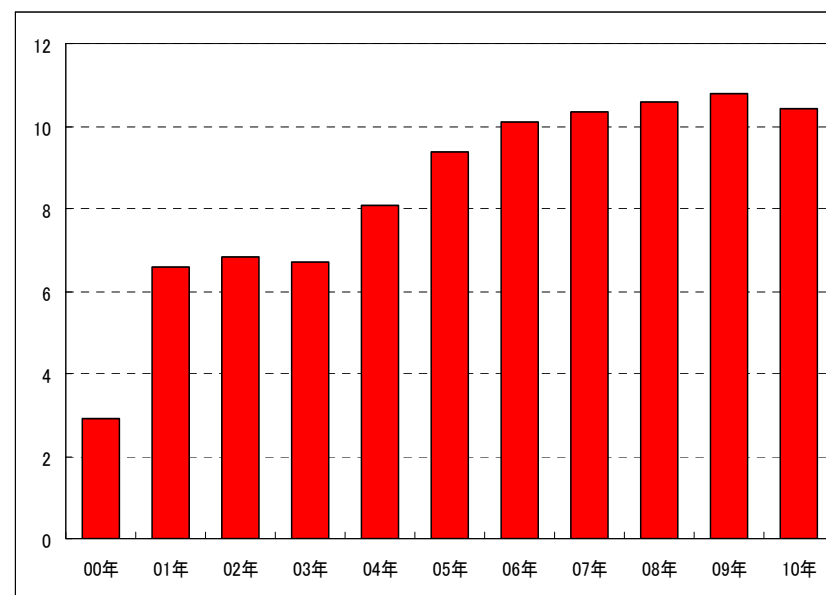
## 2.道の駅観光客数と今後求められる機能①

道の駅観光客は、登録駅数の増加などを背景に増加傾向で推移している。2010年の岐阜県の観光客数は約51.9百万人、道の駅のそれは約10.4百万人と約20%を占めている。このシェアと観光消費額のシェア(約6.8%)と比べると、道の駅効果の拡大余地はまだ大きいと言える。

岐阜県観光客数の推移(単位:百万人)



道の駅観光客数の推移(単位:百万人)



## 2.道の駅観光客数と今後求められる機能ー②

道の駅は、地域に一定の効果があることが分かったものの、飽和状態であること、市場が縮小していくことなどから淘汰は避けられない状況である。そのような下、今後の道の駅には以下の4つの機能が求められよう。

### ①充電スポットとしての道の駅

EV社会を見据えて気軽に入れる道の駅の充電スポットとしての活用および観光ルートとリンクさせることによってさらなる地域活性化が期待できる。

### ②新エネ・省エネPR拠点としての道の駅

年間10百万人強訪れるということを活かし、道の駅を次世代エネルギーインフラ拠点として活用すれば、幅広い層にPRでき、県内の新エネ・省エネ普及促進が期待できる。

### ③地域に愛され、地域の核となる道の駅

道の駅は地域経済の発展に寄与する反面、道の駅のみが発展するという側面もある。地域全体の発展のためにも、地域とのかかわりをより一層深め、地域に愛され、核となる必要がある。

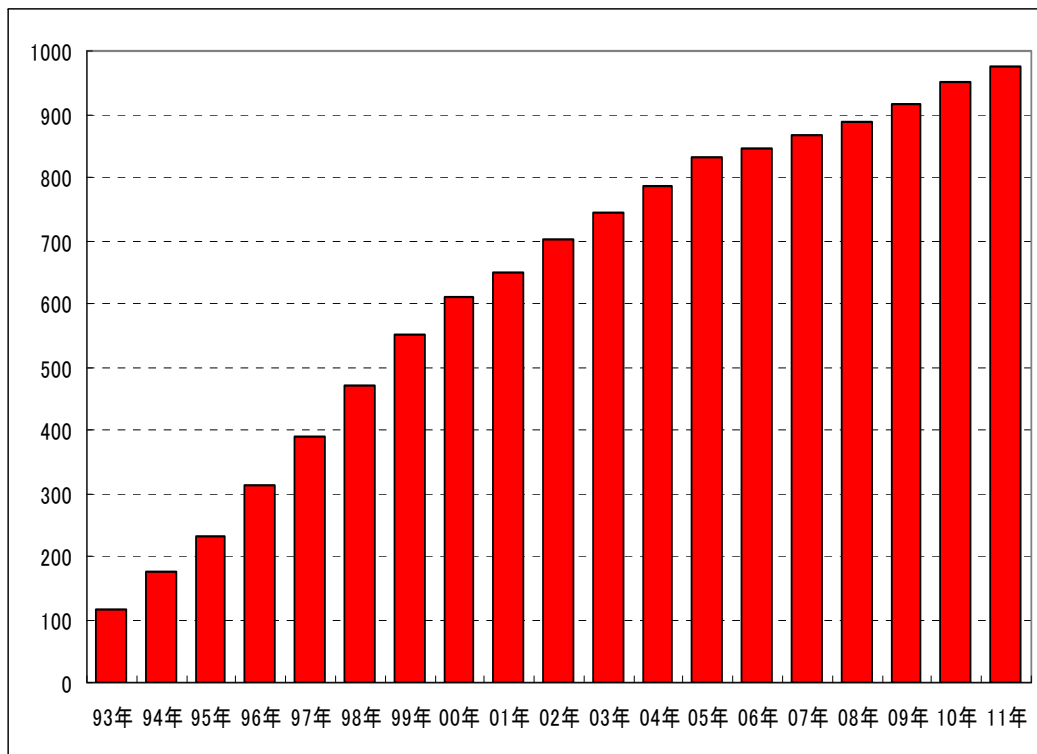
### ④広域連携拠点としての道の駅

道の駅同士が連携することで、地域そのものの連携拠点として活用でき、地域のさらなる活性化へつながることが期待できる。

### 3.道の駅の現況

8月25日現在、全国の道の駅は977箇所、そのうち岐阜県は53箇所を占め、北海道(113箇所)に次いで全国2位。**岐阜県は「道の駅王国」と言える。**

道の駅登録数の推移(単位:箇所)



注:登録数は各年の最終登録数。2011年は8月25日現在。

道の駅登録数上位20都道府県(2011年8月25日現在)

順位	都道府県名	道の駅数
1	北海道	113
2	岐阜県	53
3	長野県	41
4	新潟県	34
5	岩手県	30
5	秋田県	30
5	兵庫県	30
8	青森県	27
8	島根県	27
10	群馬県	26
11	愛媛県	24
12	福島県	23
12	和歌山県	23
14	石川県	22
14	大分県	22
14	千葉県	22
17	静岡県	21
17	高知県	21
17	熊本県	21
20	山口県	20

出所:国土交通省道路局HPより共立総合研究所にて作成